



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月11日

上場会社名 株式会社CAC Holdings 上場取引所 東
 コード番号 4725 URL <https://www.cac-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西森良太
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーショングループ長 (氏名) 酒井伊織 (TEL) 03(6667)8010
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (当社ホームページに掲載)
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	12,441	7.2	920	△13.6	708	△21.9	463	△23.5
2022年12月期第1四半期	11,600	△8.0	1,064	15.3	907	△10.7	606	△18.3

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 155百万円(-%) 2022年12月期第1四半期 △819百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	27.28	—
2022年12月期第1四半期	35.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	42,135	28,506	66.9
2022年12月期	44,213	29,300	64.7

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 28,209百万円 2022年12月期 28,620百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	4.2	3,300	3.5	3,200	1.3	2,200	5.1	129.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示を行いません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期1Q	20,541,400株	2022年12月期	20,541,400株
2023年12月期1Q	3,538,503株	2022年12月期	3,537,978株
2023年12月期1Q	17,002,915株	2022年12月期1Q	16,884,551株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断している一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関する事項については添付資料をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) セグメント別連結受注高	10
(2) セグメント別連結受注残高	10
(3) 業種別連結売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年3月31日、以下「当第1四半期」）の売上高については、国内IT事業、海外IT事業ともに前年同期に比べ増加し、前年同期比7.2%増加の124億41百万円となりました。営業利益については、前連結会計年度より開始した中期経営計画に基づき成長基盤醸成のための投資を実施したことなどから同13.6%減少の9億20百万円となり、経常利益は同21.9%減少の7億8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同23.5%減少の4億63百万円となりました。

当社グループでは、変化が激しい昨今の状況下において短期的な変動に左右されず持続的な成長を目指すため、長期的なありたい姿としてCAC Vision 2030「テクノロジーとアイディアで、社会にポジティブなインパクトを与え続ける企業グループへ」を掲げています。CAC Vision 2030ではCACグループにおけるAIやIoT等のデジタル技術やデータを活用したソリューションにより人ならではの多様な想像力や創造力を発揮させ、社会課題の解決につなげていくことを想定しています。そしてこのようなポジティブインパクトを与えるデジタルソリューションを定常的に生み出し成長させることで、高収益・高成長の企業グループとなることを目指してまいります。

CAC Vision 2030の実現に向けた中期経営計画（2022年度～2025年度）は、国内外における既存受託事業での安定した収益の確保と、2026年度以降に向けてデジタルプロダクト&サービスを継続的に生み出す仕組みの構築を行う期間としています。今年度は、中期経営計画2年目として、成長基盤の醸成に向けて継続的に新規事業を立ち上げていくとともに、人材採用や人材育成を引き続き強化してまいります。あわせて、海外子会社の構造改革やグループガバナンスの強化、組織風土改革も推進してまいります。

セグメントごとの業績は次のとおりです。売上高につきましては、外部顧客への売上高を表示しています。

また、当第1四半期よりセグメント利益の算出方法を変更しており、各セグメントに配分していない全社費用を調整額として表示しています。なお、前第1四半期連結累計期間の数値についても同様に変更して表示しています。

売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		前年同期比	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
国内IT	8,997	77.6%	9,310	74.8%	313	3.5%
海外IT	2,603	22.4%	3,130	25.2%	527	20.3%
合計	11,600	100.0%	12,441	100.0%	840	7.2%

セグメント利益

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		前年同期比	
	セグメント利益	利益率	セグメント利益	利益率	金額	増減率
国内IT	1,105	12.3%	1,015	10.9%	△89	△8.1%
海外IT	289	11.1%	267	8.6%	△21	△7.4%
調整額	△329	—	△363	—	△33	—
合計	1,064	9.2%	920	7.4%	△144	△13.6%

<国内IT>

製薬向けやサービス業向け等の案件が堅調に推移したため、売上高は93億10百万円（前年同期比3.5%増）となりました。セグメント利益は成長基盤の醸成に向け、人的投資や新規事業開発等を推進したことから10億15百万円（同8.1%減）となりました。

<海外IT>

インド子会社の金融機関向け案件が増加したこと等から、売上高は31億30百万円（前年同期比20.3%増）となりました。セグメント利益は、インド子会社においてリスクの高い案件に対し貸倒引当金を計上したこと等から2億67百万円（同7.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて20億77百万円減少して421億35百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が7億28百万円減少、投資有価証券が8億44百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて12億83百万円減少して136億29百万円となりました。主な変動要因は、未払法人税等が1億86百万円減少、賞与引当金が2億41百万円減少、退職給付に係る負債が1億81百万円減少、繰延税金負債が1億45百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて7億93百万円減少して285億6百万円となりました。主な変動要因は、為替換算調整勘定が1億35百万円増加した一方、利益剰余金が46百万円減少、その他有価証券評価差額金が4億63百万円減少、非支配株主持分が3億82百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期までの業績は、連結業績予想に対して概ね想定通りに進捗していると判断しています。現時点におきましては2023年2月14日に公表しました2023年12月期の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,491	11,762
受取手形、売掛金及び契約資産	9,287	9,272
有価証券	1,300	1,300
商品	56	57
仕掛品	174	98
貯蔵品	14	6
その他	1,751	1,717
貸倒引当金	△316	△366
流動資産合計	24,758	23,850
固定資産		
有形固定資産	1,489	1,363
無形固定資産		
のれん	763	744
その他	1,092	940
無形固定資産合計	1,856	1,684
投資その他の資産		
投資有価証券	14,543	13,698
繰延税金資産	346	328
その他	1,221	1,213
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	16,108	15,238
固定資産合計	19,454	18,285
資産合計	44,213	42,135

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,172	3,079
短期借入金	606	720
未払法人税等	432	246
賞与引当金	851	610
関係会社事業損失引当金	20	18
資産除去債務	297	297
その他	3,818	3,380
流動負債合計	9,199	8,352
固定負債		
長期借入金	2,000	2,000
退職給付に係る負債	2,225	2,044
資産除去債務	227	227
繰延税金負債	875	730
その他	383	274
固定負債合計	5,713	5,276
負債合計	14,912	13,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,702	3,702
資本剰余金	3,749	3,722
利益剰余金	20,498	20,452
自己株式	△4,267	△4,267
株主資本合計	23,683	23,609
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,293	3,829
為替換算調整勘定	461	597
退職給付に係る調整累計額	182	173
その他の包括利益累計額合計	4,936	4,599
非支配株主持分	679	296
純資産合計	29,300	28,506
負債純資産合計	44,213	42,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	11,600	12,441
売上原価	8,673	9,401
売上総利益	2,927	3,040
販売費及び一般管理費	1,862	2,120
営業利益	1,064	920
営業外収益		
受取利息	4	24
受取配当金	1	1
為替差益	67	-
持分法による投資利益	10	15
債務勘定整理益	-	22
その他	14	22
営業外収益合計	99	86
営業外費用		
支払利息	18	16
コミットメントフィー	1	1
投資事業組合運用損	215	222
為替差損	-	37
その他	20	19
営業外費用合計	256	298
経常利益	907	708
特別利益		
投資有価証券売却益	0	-
関係会社株式売却益	-	31
関係会社事業損失引当金戻入額	150	-
特別利益合計	150	31
特別損失		
その他	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	1,056	740
法人税、住民税及び事業税	177	238
法人税等調整額	244	12
法人税等合計	421	250
四半期純利益	635	489
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	606	463

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	635	489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,696	△463
為替換算調整勘定	252	138
退職給付に係る調整額	△11	△8
その他の包括利益合計	△1,454	△333
四半期包括利益	△819	155
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△859	126
非支配株主に係る四半期包括利益	40	28

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT	海外IT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,997	2,603	11,600	—	11,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	453	533	△533	—
計	9,077	3,056	12,134	△533	11,600
セグメント利益	1,105	289	1,394	△329	1,064

(注) 1. セグメント利益の調整額△329百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「海外IT」において、2019年10月18日に行われたMitrais Pte. Ltd.の株式取得における条件付取得対価の支払いが確定したことにより、新たにのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において348百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内IT	海外IT	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,310	3,130	12,441	—	12,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	365	433	△433	—
計	9,379	3,496	12,875	△433	12,441
セグメント利益	1,015	267	1,283	△363	920

(注) 1. セグメント利益の調整額△363百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

報告セグメントごとの経営成績をより適切に評価するため、当第1四半期連結会計期間より、当社の一般管理費は各報告セグメントへの配賦を行わずに、セグメント利益の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) セグメント別連結受注高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	11,893	68.6%	11,458	65.0%	△434	△3.7%
海外IT	5,435	31.4%	6,157	35.0%	721	13.3%
合計	17,328	100.0%	17,615	100.0%	287	1.7%

(注) 外部顧客への受注高を表示しております。

(2) セグメント別連結受注残高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	11,196	64.1%	10,988	61.6%	△208	△1.9%
海外IT	6,262	35.9%	6,862	38.4%	600	9.6%
合計	17,458	100.0%	17,851	100.0%	392	2.2%

(注) 外部顧客への受注残高を表示しております。

(3) 業種別連結売上高

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	3,578	30.8%	4,028	32.4%	449	12.6%
製薬	2,033	17.5%	2,122	17.1%	89	4.4%
製造	1,934	16.7%	2,092	16.8%	158	8.2%
情報・通信	1,763	15.2%	1,806	14.5%	42	2.4%
サービス業など	2,291	19.8%	2,392	19.2%	100	4.4%
合計	11,600	100.0%	12,441	100.0%	840	7.2%

(注) 外部顧客への売上高を表示しております。